日本GAP山形支部機関誌

ユニバーサルメッセージ

9

日本GAP山形支部機関誌

ユニバーサルメッセージ9

調　和　千田光明…1

信念と親切　山口　緑…2

アダムスキー哲学までの道　高橋由一…6

明けの明星　菊地啓子…8

対談　質疑応答　久保田八郎会長…9

宇宙郵便局…14

山形支部月例会・〈予告〉仙台・山形合同支部大会…16

お知らせ・編集後記…17

パロマーガーデンズのレストラン跡のそばに立つ樫の大木。

調和

千田光明

昨年の十一月頃、会社で仕事をしていた時のことですが、さて仕事を始めようとして何げなく上を見た時に、少し離れたところにある大型運搬用リフトの連結部が落ちるような印象を受けたのですが、そのまま仕事を続けもうその事は忘れていました。昼頃仕事を終えると向こうで人が騒いでいるのできいてみると、リフトの連接部が緩んで落ちたとのことでした。幸いにも怪我をした人がなかったのでよかったと思いました。

また転職する前に勤めていた会社へ行くときのことですが、朝家から最寄りの駅へ歩いて行く途中で、「今日は何か行く気がしない、列車が不通かもしれない」という気がしたのですが、駅へ行ってみると列車はポイントの故障で、一時不通になっていましたが、すぐに運転が再開されました。

これらの体験はだれにでもあるのですが、このことはすべてを知っている意識が心に印象を与えるためであろうと思います。

いかなる物体の分子や細胞も、その物の生命ある意識が与えられているからです。

『そして意識の意志の表現は親切で豊かで美しいのですが、エゴの意志は攻撃的で威張っていて自己中心的です。』と「生命の科学」に書いてある通りです。

以前、私は「…でなくてはならない。」という傾向があり、そのため自分で自分を拘束していたことになり、否定すべきものは何もないのです。調和ある生活を楽しもうとすれば、心の概念によらず、心の意志は〝意識の意志〟に従う必要があります。

信念と親切

山口　緑

クスコでのある出来事

昨年の八月十七日旅行団一行は南米ペルーの南部の都市クスコに向け、首都リマをたった。前日はリマのホテルのレストランで自己紹介を交わすためのパーティーが開催されたが、その日が私の誕生日であった。久保田先生より記念品を頂き気をよくしていた。

クスコには昼前にたどりついたが、受けた第一印象はこの都市全体がすべて赤茶色を帯びていたことである。家も道路も歩くメ々もすべてそうなのだ。ここはリマとちがって空がぬけるように青くて、地上の赤茶色と紺碧の空が素晴らしいコントラストをみせている。

クスコは標高三千四百メートルにある高地都市である。日本をたつ前から高山病のことはかなりきつく聞かされていたので、とにかく用心しながらゆっくり歩いたり、休んだりしたりしたつもりだった。

クスコの街はかつてのインカ帝国の首都であったというが、私には実感として湧いてこない。リマやその後訪れたプノにしてもそうだったが、むしろこれらの都市のもつ異様な雰囲気に、一日も早く脱出したいという気持ちがカルフォルニアにまい戻るまで続いたのである。これらの土地の放つ異様な臭いや人々のエキゾティックな風景、それらは私の心にとってテレビの画

クスコ中心街にそびえたつ大寺院　（1980年8月17日 夕刻）

面を通して見るような間接的な感じとは全く別の、生きた感じである。なぜか南米には親しめない。

さて、クスコでの話を続けよう。半日近くホテルの自室で休息した後、市郊外にある遺跡見学に出発した。市街を抜けてバスで石畳の急傾斜道路を登ってゆく。最初に訪れたのがサクサワマン城塞である。これは圧巻である！巨大な石が無数に三重に積み重ねてある。しかもその石組みの間はカミソリ一枚とて通すことができないのだ。

その後タンボマチャイやその他の遺跡を見学し、クスコ市内に戻ったのはすでに黄昏時であった。ここで街の中央にある大寺院を見学することになった。（注：タイトル写真を参照）

この見学は自由であったが私は内部からのある印象を無視して、その寺院へ入ってしまったのだ。その結果私はこの意識からのささやきを無視したおかげで、苦痛という代償を負うことになったし、また大いなる生きたレッスンを学ぶことになったのである。

ついにダウン

内部は実にインケンで独特の宗教臭い空気が漂っていて、とても気持ちの落ち着ける場所ではない。人々はこんな薄暗い屋敷の、ウソクの無気味に揺れ動く炎を見て、果たして心のやすらぎを本当に得ているのだろうか。

その中でガイドさんの説明を受けながら、身体が次第にだるくなり、気分が悪くなるのを感じ始めてきた。足どりも重く、「ここで倒れてしまうのではないだろうか」という恐怖感におそわれた。「いや絶対大丈夫だ」と自らに言いきかせ、もうこの場所から出ようとして、私のルームメイトであられた清水さんに「先に出るから」と伝言した。そのとき「気分が悪い、助けてくれ！」とノドのところまで言いかけた。しかしここで皆さんに迷惑はかけられないと思い、皆さんの後に従った。外に出ようとしても出口も見当らない。

次第にどうにも苦しみがこらえきれなくなり、壁にもたれかかり休もうとしたがどうしようもない。次第に眼の前が暗くなっていった。それはまるでカメラの絞りが徐々に閉じるように、とうとう意識が薄れ、暗く冷たくなったその寺院の一角にうずくまってしまった。遠く深い谷へ落ちてゆくのがわかった。

野口さんが助けてくれた！

「生きろ！助けを呼べ！」みんながほとんど去ってしまった後だったろうか。かすかに、しかし力強い声がきこえてきた。たしか何かわめき声をあげたような気がする。「人が倒れたぞ誰か来てくれ！」というかすかな声がきこえ、その直後自分のからだがどなたかにささえられ

ているのがわかった。しかしまだ眼は閉じたままで、非常に苦しい。

「胸いっぱいに深呼吸をして」確かにきき覚えのある野口さんの声だ。「野口さんが助けてくれたんだ！」そう思い、私をさえてくれている野口さんともうひとりの方へこの方は今なおどの方なのかわかりませんが、ここであらためて感謝申し上げます。」に導かれて寺院を出たのである。二百メートルほど歩いただろうか。もうあたりは暗い！ようやく眼の前の光景が見えてきた。気分もだいぶ楽になってきた。生き返ったぞ!!

恐怖と苦痛とのたたかい

意識は回復したものの足どりはふらつく。ようやくバスに乗り込み座席に身を横たえた。みんなはその後市街の店に買いものにでかけていった。私はひとりバスの中でじっと待った。再びどうしようもない苦痛と寒さが全身に襲いかかってきた。息づかいは荒く吐き気もする。それに追い打ちをかけるかのように言い知れぬほどの恐怖感が押し寄せてくる。「この高山病で今後の旅路はすべてメチャクチャになるのではあるまいか」、この誰ひとりいないバスに強盗が押し入ってきて、私を襲いはしないだろうか」

このときある内部からの「声」が聞こえてきた。

『大丈夫ですよ。信念を持ちなさい…』

そうだ『信念』だ！　絶対治るという信念だ！

私は全身の細胞にこれを何度も何度も呼びかけてみた。あたりはすでに真っ暗で不気味な犬の遠吠えが耳に入ってくる。それでもあきらめずに信念を全身にふり注ぐ。次の瞬間、大いなる希望のフィーリングとアダムスキー氏やスペース・ピープルの印象が浮かびあがってきた。

「そうだ、きっと助かる。私はスペース・ピープルと一体だ！宇宙の意識と一体なんだ！」そう思念した瞬間、全身が非常に楽になってきた。闇の中に次第に光が輝き始めたのだ。

「親切さ」の偉大な力

一時間ばかり経過しただろうか。みんなが戻ってきた。私の胸に明るさがポッともどってきた。来る人来る人がみんな私に激励の言葉を下さったり、私のベッドを持ってくれたりして下さった。感慨無量！とっても嬉しい。これらのすばらしい方々に感謝してもし尽くせるものではない。こんなときほど人々の親切さや愛が輝いて、有難いものはない。今もなおこれらのすばらしい方々に心から感謝したい。

清水氏が私を介抱されながら次のように話して下さった。

「あの寺院で山口さんが『先に

外へ出る』といった時、ちょっと変だ、という印象を受けたが、そのときの印象に従わなかったのがとても残念だ。」

清水氏の謙虚さとご親切には敬服するしかない。

その晩は自由行動で皆さんは思い思いに連れ添って食事に出かけていかれた。私は自室のベッドに横になって回復を待ったが、もうかなり元気になっていた。私の具合いを心配されて久保田先生が有機ゲルマニウムを大量に届けて下さったし、安藤氏には日本の懐しい味ウメボシを頂いて回復に拍車をかけて下さった。さらに赤間さんや柴田さんにはほんのりとしたパン数個を頂き、空腹をしのぐことができた。その他多数の方々の親切をあげればきりがない。こうして翌日には完全に元気を取り戻したのである。

信念と親切は宇宙的人間への架け橋

このクスコでの体験は貴重だった。人の親切は絶対に宇宙的である。困っている時、苦しい時に与えられる親切さほど輝やかしく、美しく、有難いものはない。他人を助けることは万人に与えられた特権である。他人が何かで困っている時、自分の気持を差し出してやればいいだけである。親切を促す方も受ける方もそれだけで宇宙の意識の御子となれるのだ！

そして〝信念〟。いかなる状況におかれようと「自分は絶対に大丈夫だ！助かる！」という強烈な信念を持つならば、必ずそうなるのだ。決して挫折することはない。

純粋なる親切と不屈の信念は大宇宙全体に輝き渡り、宇宙の意識の愛ある波動と共鳴するがゆえに宇宙的人間への架け橋となるのだ。

マチュピチュにて久保田先生と安藤氏とともに　（撮影 柴田文子さん）

初めて支部報に書かせていただきます。いざ自分で文章を書いてみようと思うと何を書き、どのようにまとめたらいいのかわからず、私にとっては大変な事でした。

最近よく過去をふり返ってみることがあります。それは過去を美化し、感傷的になるのではなく、冷静に過去を分析するとそこには今日まで気づかなかった自分が発見できるのです。自分のマイナス面を知ることにより、プライナス面に変えてゆくことができます。

さて、自分の歩んだ道をふり返ってみると、大きく変化させてきたのは高校のころだったと思います。登校中突然内部からの問いかけが起こりました。私は何のために生きているのだろうか。毎日同じ事のくり返しで生きていたって、喜びよりも苦しみ、悲しみの方がはるかに多いではないか。そんな人生なら死んだって同じではないか——。」「いや違う。人間が存

アダムスキー哲学までの道

高橋由一

在し生きてゆくということは何か意味があるはずである。重要な存在理由があるはずだ。でなければ存在するはずがないのではないだろうか——。」という問いかけが起こってから自分の存在、人間の存在を追究するようになりました。つまり「真実を知りたい」ということです。

それからというものは、自分に何かを与えてくれないものは必要ないのである。あらゆるものから自分に得になるものを見つけ出そうという姿勢になりました。

そうするとまず自分という人間が見えるようになってきました。すると見えるのは欠点ばかりです。このような人間がこのきびしい社会を生きていけるだろうか、と思うと自分の人生が真っ暗になり、気持ちの沈む日が続くようになりました。それでもとにかく生きてゆかねばならないのだから救いが得たくて人生論の本を読むよ

うになりました。それらから得たのは、「私は私なのだから、他人と比較せず自分の人生を精一杯生きてやろう」ということでした。またこのころは音楽に興味を持ち始めていました。音楽といっても、私にとっては同世代からのメッセージとしてのフォークやロックミュージックでした。それらからは人生、社会、愛(人生愛)、平和など多くの事を考えるきっかけをつくってくれましたし、自分の価値観も変わり視野を広めることができるようになりました。

こうして社会に目を向けるようになりました。しかし、いくら社会制度を変えても結局は何も変わってはいないのです。現実は物質文明につかり、不満や不安はありながらも満足して生活しています。自分の信念を主張するのはすばらしい事ですが、間違いを素直に認め、さらに自分の考えを高めていこうという姿勢で生きている人は少数のようですから、理想社会になるにはこの地球上に大規模な異変でも起こらないかぎり、まず無理でしょう。それから一時期宗教に誘われたこともありましたが、偶像崇拝に納得できなく、組織の圧力なども感じて自然に離れました。

GAPに入会したのはこのころではなかったかと思います。アダムスキーに対する知識はほとんど持っていませんでしたが、どうしても気になる存在でした。しかしアダムスキー哲学の内容は私にとっては当り前の内容でした。ただ私たちが気づかないで忘れてしまったことを、再びこさせてくれたのだと思っています。「自分自身を見つめること」、「自然を見つめること」など、たしかにそこから真理を学びとることができるのです。「至上なる英知の具体的な表現」であるのはだれも否定できないでしょう。アダムスキー哲学を私がいうまでもなく、みなさんの方が詳しいでしょうから、あとはいいません。

それから会員の方々と接していると、安らぎを感じさせてくれるフィーリングを受けるのです。これは自然から発せられるフィーリングと同じものではないかと思いますし、この安らぎこそが宇宙的なことであることがわかりました。

このように簡単にふり返っただけでも多くのものから影響を受けてアダムスキー哲学にたどりつきました。この宇宙哲学という絶対的なものを知り得た今では、さらに理解を深めるために追究し、自分を高め、「宇宙の意識との一体化」をめざして、焦らないで前進したいと思います。

明けの明星

菊地啓子

人間はこの世界を意のままに変化
させられる唯一のものとして
宇宙の中に生まれました。

自然の力より以上広く、速く、
そして残酷に。

自然を社会を変化できる特権
を持っている人間は
人間の存在する意味を
知っているでしょうか。

"神"は意志と物質で
世界をつくりました。
そのすべての頂点に人間を
おいたのです。
人間はすべてのものを利用できる
能力と、すべてのものを管理
できる権力を持っているのです。

人間は力を役目の正当な
目的のために使わなくては
いけません。~調和の世界~
美しい神の国をつくり
あげるためです。

大きな"時間"、
生命の永遠の
連続の中に立てば
環境のちがい
能力の有無にかかわらず、
人間はただひとつの神の国、
大宇宙の中に生きていることに
気付くでしょう。

対談 質疑応答

解答 久保田八郎 会長

●次に掲げる記事は今年一月に、編者が独自に久保田会長に対談形式による質疑をお願いし、与えられた解答である。

アダムスキーは注目されるか

―今後アダムスキー問題が注目される時が来るでしょうか。

「いつかは来るでしょうけれども当分ないでしょうね。」

―たとえばその時期が来た場合、この世界は変化するでしょうか。

「あまり変化しないでしょう。」

―今後「救世主」と呼ばれる人は出現するでしょうか。

「当分出現しないでしょう。」

―アダムスキーの成した宇宙的な活動は地球全体に対してかなりの影響を与えたんでしょうか。

「全部の地球人には影響は与えませんでしたが、小数の地球人には莫大な影響を与えたのです。それでよかったのです。少数でよかったのです。」

―その少数の人々が地球の改善に貢献するということは考えられますか。

「それは考えられます。ある程度は―。」

地球でのレッスンは万物一体

―地球上でわれわれが学ばねばならないレッスン、達成しなければならない目標があるとすればそれはどういうものですか。

「万物一体、人間はすべて一体であるという思想を持つことに尽きます。」

―忍耐や信念のレッスンの場であると思いますが―。

「忍耐のレッスンの場でもありますが、これにも限度があります。われわれはあまりにもおよしになってもいけません。適当に知能をつかって利口にやる必要があります。お人よしの愚鈍な人間になってはいけません。人間を生かしている根本的なパワーというものは全部平等であることを知るためにわれわれはこっちへ出てきたわけです。」

新世界が到来するとき

―地球の将来に調和と愛に満ちたユートピアをつくりあげることはできるでしょうか。

「かなり後の時代にできるかもしれません。二十一世紀にはだめでしょう。今ではどうい う見方をされますか。まず第三次大戦が発生するであろうということです。これは

人為的な大変動、それと自然的な大変動が起こるであろうということ、この両方が今世紀末から来世紀初めにかけて起こるであろうということです。両方とも起こるかもしれませんし、一方だけ起こるかもしれません。そうして世界の人類の大部分が死滅して、しかる後に新しい二十一世紀の理想の社会がスペース・ピープルの指導のもとにできてくるんじゃないかということなんです。」

―それはどういう世界でしょうか。

「宇宙的な宇宙思想を基盤にした、奉仕の精神に満ちた世界です。

―GAPはその時注目される―でしょうね。

「GAPがそれまで存続していればものすごく注目されるでしょう。」

信念を持つための秘訣

―信念を持つための秘訣は何ですか。

「まず自分でことばを反覆して唱えることです。『自分は絶対大丈夫だ！自分は宇宙の創造主のパワーに生かされている人間だから、絶対に完璧である。病気にもならない、自分の運命はすべてうまくゆくんだ』というような強烈な信念を持って、そのことばを反覆して唱えるということ、これがまず第一番目です。

二番目は『強烈なイメージを描く』ということ。すでにできあがってしまった光景のイメージを描くことです。この二つをやらないとダメです。私はすべてこれらをしょっちゅうやっているわけです。私自身もやっていますが、私自身のひとつの効果としてはあるノンフィクションミステリーの本を出そうとして、どこから出せばよいかなあと思っていましたが、これが私のイメージ通りある出版社から出るようになったんです。今年の五月に出るんですが、これは私が完全に信念を持ち、イメージを描いてその通りになったわけです。

by
Sumio Ando

ですからわれわれの哲学は、単なる〝宇宙的でいいなあ〟というようなことを考えて〝いいなあ〟といっていることじゃなくて、自分で実践して自分の運命をガラッと変えてしまうというようなことをやってこそはじめて、日本GAPの値ウチがあるんだとこう思います。」

想念観察が進歩のカギ

―信念を持つことは内面的なもので思ってもなかなか実践できませんが、もっと具体的な秘訣はありませんか。

―想念観察をやることです。これ以外にないと思います。想念を観察してそれを自分の持っている手帳にどんどん記入してゆくことです。手帳の一冊や二冊はたいしたことはありません。これを五、六十冊持っていても金銭的にはたいしたことはないんです。どんどん記入していって最後に一か月の終わりか、一つ年の終わりにそれを見てはじめて、『自分はこうまでつまらない人間だったのか』と反省するのが、絶大な本人の向上の資料になるわけです。だから想念観察をやらないとだめなんです。私も過去何度もやりましたが、実にすばらしい方法だと思います。

結婚はGAP会員と…

―結婚はすべきでしょうか。

「これは本人の自由意志次第です。私としてはしなさいとか、しちゃいけないとか全然いえないんです。全く本人にまかせます。その結果失敗しても何ともいえません。」

―結婚の相手は運命的にある程度決定しているのではないでしょうか。

「いやそうとも言いきれません。過去からのカルマで決まっている人もあるんですが、そうでないのもあるんです。だからこの結婚というのは自分の好きな女性とか、あるいはこう決まりそうだというのは必ずしも過去世からのカルマじゃないんです。単なるいっときの好き嫌いだろうと思います。その証拠に芸能界の男女優がくっついたり、離れたりしていますからね。あれは本当のカルマじゃなくて、単なる興味本位でくっついているということがわかります。

しかし山口君が嫁さんをもらおうと思えばGAPの会員でないとダメです。しかも会員で熱心な、もう宇宙哲学以外は自分の人生はあり得ない、というような女性でなくてはいけません。」

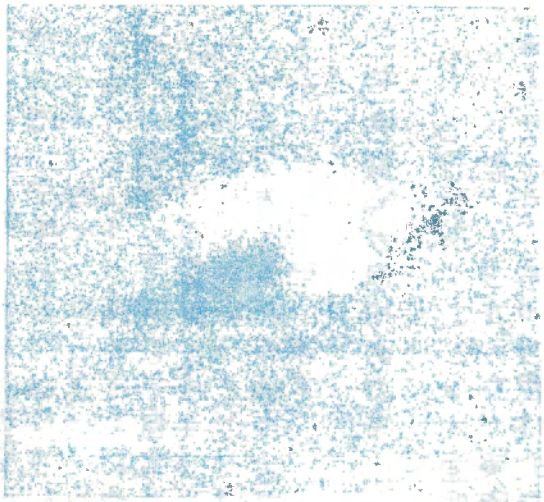
スペース・ピープルはGAPを注目している！

―今後スペース・ピープルは地球人に対し、何らかの指標を示したり、円盤が公然と上空に出現したりする時期が来るでしょうか。

「大いにあると思います。早い話われわれは去年の旅行で、ティティカカ湖にちゃんと円盤が

現われているんです。その前にデザートセンターにも母船が現われています。今後はそれが増えるだろうと思います。しかし何にもわからない人の前に現われてもしょうがありませんから、あるる程度の人やグループの前に見せるでしょう。」

―それらの円盤の出現の意図には、スペースピープルが地球人に対して積極的な働きかけをしてくるだろうということですか。



ティティカカ湖上空に出現した円盤

―そうです。しかし二十年かかるでしょう。

―例のティティカカ湖上空の円盤の出現の意図は何だったのでしょう。

―それに関してステックリング氏が手紙をよこしたんですが、あの写真をすぐスピルバーグに送ったんです。スティックリング氏は、「これは素晴らしい写真だ！驚くべき写真だ！これでもGATPZペースプラザ！ズが日本をはっきりとわかる目しているとはっきりとこの太陽系内のものだ。」と手紙るーこの円盤はあの円盤はこのしたものでしょうか。

―ものえ。絶対にあれは本物ではないって、いい加減なものではないのです。」

―大きさはどのぐらいあったでしょう。

―直径三十メートルぐらいあったんじゃないかと思います。」

―人は乗っていたんでしょうか。

―当然乗っていたんでしょうね。

―自分はあの時円盤が現われ

るんじゃないかと思って注意していたんです。

―テレパシックな印象があったのでしょうね。」

精神的レベルと身体

―人間のカルマや精神的レベルは身体（人相や手相など）に現われるでしょうか。また各種の占い（占星術、タロット占い、印相、氏名相など）の真憑性に関してはどうですか。

―身体とはあまり関係ないと思います。しかし非常に特殊な人は出世時から体のどこかに、それとわかるパースマークがしるされているはずです。

占星術、タロット占い、印相、氏名相などは全く信ずるに足りないものです。ただし人相学や手相はあたります。」

信念の力で進化した惑星に転生できる！

―先生は別な惑星から、志願

して地球に生まれ変わって来られたんですか。

「ずっと昔そうです。」

―地球と別な惑星との本質的な違いはありますか。

「地球も他の惑星も根本的には同じなんですが、金星などはロボットを使ったりしてものすごく科学的だと聞いています。地球はまだです。金星人はすごく進歩していますねえ。ロボットを使ってあらゆることをやらせながら、人間は精神的にちゃんと向上するようにしていますし、いい生活をしています。もっと多くの金星人は地球に過去いたんですがね。地球では難儀なめにあったけれども、金星へ帰ってよかったとか何とか言っているんだろうと思います。」

―宇宙人が地球に生まれ変わった場合、前生のことを記憶していないことが多いわけですか。

「そうだと思います。覚えていないんです。だから人間とは何かというこなんです。私自身は今生地球へ転生してきて、GAP活動というものをやろうとしているんですが、ほかのことはよくわかりません。死ぬまでこの活動を続けます。」

―木星という惑星はどんな惑星でしょう。

「これはこの太陽系で最大の惑星で、今地球の探索では人間の住めるような惑星じゃない、と言われていますが、本当はすばらしい人類が住んでいると聞いています。ただし金星や土星とはちょっと劣るらしいです。しかし地球よりはるかに進歩しているということらしいです。」

―木星の持つ役割は何ですか。

「最大の惑星ですから何か大きな役割を持った惑星でしょう。木星人というのは宇宙の法則に対し非常に忠実ではあるけれども、極端なことをやる傾向があるということらしいです。」

―別な惑星へ進化した惑星に生まれ変わろうという信念を持った場合、それが実現化されるでしょうか。またそれを実現するための最大のポイントは何ですか。

「信念が強ければ別な惑星への転生は可能です。それを実現させるには、この地球で学ぶべき事を学んで、『地球学年』を終了して、進級の準備をしておく必要があります。そのためには何といっても宇宙の法則に従った生き方をするべきですね。」

最重要事は宇宙哲学の実践

―今後のIGAPと日本GAPの活動計画や方針にはどういうものがありますか。またGAP会員全体に対するご希望、ご要望がございましたらお答え下さい。

「今後の活動計画は何といっても資金次第です。具体的なことはあまり公表できません。会員全体に対しては『とにかく宇宙哲学を毎日生活に生かして実践して下さい』の一語に尽きます。」

―大変どうもありがとうございました。

ある匿名氏より

お元気でいらっしゃいますか。11月28日(金)にユニバーサルメッセージ8が届き、楽しく読ませて頂きました。本当にいつも何かを学ばされて、がんばらなければ、と思っています。読んでいますといろんな想いがこみ上げてきて、こんなに皆さんはがんばっていらっしゃって、すばらしい方ばかりで、なぜかしら胸がいっぱいになってきました。

山口さんが書かれました〝類は類を呼ぶ〟本当にわかるような気がしました。今から考えてみますと、昔二、三年ぐらい前ですけれど、私自身悲しい気持ちですけれど、そのために本を買うのもとても悲しいばかりで歌もそんな感じばかりが集まってしまいました。こんなわけで〝類は類を呼ぶ〟かどうかわかりませんけれど、何か学ぶこともそんな中で少しずつ思います。

―この与えられた環境は自分にとって必要だからこそ与えられたのだ。

―この一面を探ろう。どんな環境にいても思いきっと学ぶべきことがあると思いますが私があんなに悲しかった中にもったのも、そのときはとても辛かったですけれど、何かを知るためだったかしら、と今では思っています。

―いかなる類を引き寄せるかは各人にかかっている―。いつもアダムスキー哲学を心に留めて実践してゆこうと思います。

このあいだTVである方が〝ばらしいことを言われてました。幸をもむる者は今に生きよ〟

今、この一瞬一瞬を精一杯生きること！

音楽家ヨハン・シュトラウスという激しい間に、このようなお話を読んでいるとても感じました。私は宇宙からの助けとてもいいなと思いました。

―どこかちんけなこと言葉がなぜかしら思い言葉

先の安藤さんが書かれました。〝題名を読みはじめた文章を読んでいるとき、ふっと上の言葉をうかんでいるのかなと、せんっけてよのどうこうかりまの中でのれるよ暖かい日溜まりおじさんが午後にすばらしいお話をしてくれたちのうで、やさしく包んでくれるような気がしてきました。見過ごしてしまいそうな自然の中の出来事をこんなふうに見つめていらっしゃる。とてもすばらしくて！心に振り回されがちになりますけれど、自然を観察し、感じることを忘れないこと。

いつも想うのですけれど、ほんのひとときの間、たとえば暮れゆく空を見ていますと、何かわからない想いがいちどきに寄せてきて、そのなぜかとひとたびそがいついたくなってもとてもくさんのことを教えられるような気がするのです。あの空はずっと前からずっと変わらないで友達だったのです。私は知りたくて自由な心のよろこびを感じたくて、言葉で語るんだっていうことで、自然の偉大さ。心が安らぎの中に導かれ、自然と一体になれる純粋な波動、英知を流してくれるこしたら、世界中の人々がそれぞれ伝えたいことを感じてくれたらなんてね。

南米宇宙考古学の旅で、ティティカカ湖上空に土星型円盤が出現しました。とても嬉しく思っています。私たちを見つめている、と思うと本当に嬉しい気持ちになってきます。

久保田先生の質疑応答の中で心が惹かれたのは、―現在の一瞬一瞬、未来に対する展望と希望、決意。―これからの自分はどうしてやっていくのかと―こと―。いつのまにか過去の出来事を思い出して悩んでしまったり、簡単な物事ばかり行なったりしてしまうのですけれど、こんなことではいけないつまでも進歩がなくて、いろんなことにぶつかりながら、その中で自分自身を向上させていくことが大切なのですね。まだまだ私自身、小さな弱い心ですけれど、少しずつ努力していこうと思います。

仲間秀樹氏

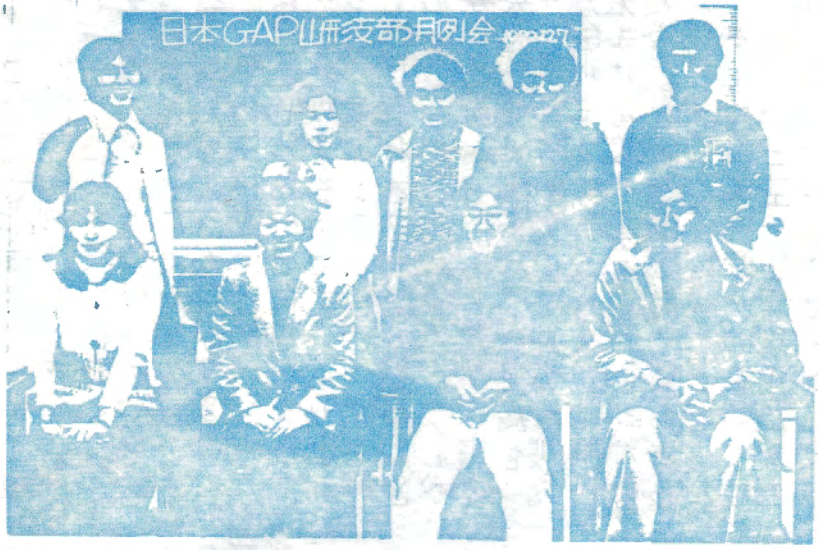
前略、厳しい寒さの中、毎日お元気でお過ごしでしょうか？そちらの方はたいそう雪が降り積っているそうですね。山形地方のニュースを聞くたびに、山形支部の方々のことを思い出します。

先日は東京月例会に今年も参加することができました。山形からは清水さんの楽しそうなお顔にお目にかかりました。

月例会では「コニバーサルメッセージNo.8」を頒布され、早急読ませて頂きました。記事の中「類は類を呼ぶ」と題したものの内容は良い参考となります。「必要なものは与えられる」類は類を呼ぶ」、この表裏一体の点はとても重要だと感じました。ここにてもあるとしいう意味にもなるのと描いたり、ミラクルワイメージを如くあるの原因を持てば実現するとなるのと自分にだけと思いれたす。環境一家庭や友人、職場などに対して不平不満をこぼしたり、何ちなの値のないものにとらわれ、学ぶべきことに早く気付いて、レッスンに励みたいと思いを新たにした次第です。（略）それではまたお会いする日まで。

山形支部月例会

活発化！県外からも参加者！



昨年12月の月例会（12月7日、山形市民会館小会議室）。
前列左より、柴田、佐々木、安藤、中田、後列左より、山口、高野、中村、本山、清水の各氏。

山形支部月例研究会は小規模ながらも、会員の方々の熱意と穏和な雰囲気により毎月素晴らしい会合がもたれています。最近は遠路はるばる県外からも多数参加され、その熱意には全く敬服してしまいます。昨年中だけでも青森からは大久保、中根、田村の各氏。京都の仲間氏と榊原氏。秋田よりわざわざ足をはこばれた佐々木さん（上の写真参照）。宮城県の安藤氏と笠原ご夫妻。今年の一月には何と愛媛県今治市からは渡辺氏と東京の松本氏。そして仙台の柳氏、村氏。その他多数の方々が山形支部月例会に参集頂きました。あらためて深くお礼を申し上げます。今後も尚一層のご支援を頂き、山形支部一同、発展と充実と向上をめざしてがんばります。

告知 仙台・山形合同支部大会

第2回合同支部大会。仙台と山形の英知の結集！是非ご参加下さい！素晴らしい大会が実現します！

- 日時 5月24日(日) 午前10:00→17:00
- 会場 仙台市市民会館2F 第3会議室
  仙台市桜ケ丘公園 4 / 0222-62-4721
- 会費 ¥ 2,000
- プログラム
  1. 代表挨拶（笠原）
  2. 支部会員4名による講演（30分×4）
  3. 休憩、昼食
  4. 講演「アダムスキー問題について」（久保田会長）
  5. 記念撮影、休憩
  6. 質疑応答（久保田会長）
  7. 閉会
- 夕食会 会費¥3,500、会場未定
  6:00～8:00
- 連絡先
  〒982 仙台市東十番丁1 国鉄アパート1-18
  笠原弘可 Tel. 0222-95-0725

本誌バックナンバー

下記の旧号がわずかに残っています。希望者は切手か振替にて早めにお申込み下さい。

7号　アダムスキー哲学と人間の目的（増田文子）／健康についてひとことと（本山恒明）／生命について考える事（原弘子）／その他

8号　庭先のスケッチ（安藤澄雄）／アダムスキー哲学に接して（清水晃治）／ティティカが頭上空に円盤出現／裏話応答（久保田八郎）／その他

頒価　各¥100　〒1部¥120，2部170円

山形支部月例研究会

- 毎月第1日曜日　午後1時～5時
- 山形市民会館　小会議室
- 会費　¥200
- プログラム　①久保田会長の東京月例会における「宇宙哲学」講義録音テープ公開　②意見発表　③テレパシー練習④座談会

※都合により会場や日時に変更がある場合がありますのでご注意下さい。ご照会は山口まで。5月の月例会は合同支部大会のため中止します。

編集後記

●ほんのりとした春の伊吹が感じられる時節を迎えました。ようやっと9号を発刊するに至りました。ご支援に厚く感謝申し上げます。

●一九八一年がスタートし、皆様もそれぞれの高き目標を掲げ、アダムスキー哲学に沿った活動を展開されていると思います。山形支部もさらなる躍進をめざして奮闘してゆきたいと思います。今年もよろしくお願い申し上げます。

●第2回仙台・山形合同支部大会は前ページの予告通り盛大に開催いたします。今回は支部会員4名による貴重な講演が展開し、さらに久保田会長による大講演がひびき渡ります。さらに質疑応答の時間もたっぷり準備し、徹底的な語り合いが宇宙的雰囲気のもとに実現します。仙台と山形支部の英知が結集した前代未聞の大会にふるってご参加下さい。

●本誌掲載の「質疑応答」は事情により対談の全部を掲載できませんが、しかし重要なメッセージであると思います。何はともあれ、私たちはアダムスキー哲学を生活の中で実践し、愛と奉仕に満ちた宇宙的な生き方が重要であると思います。久保田会長の長年月に渡る献身的なご活躍には頭があがりません。何の報いをも求めることをされずに活動を続けられている久保田会長にできる範囲内の援助をしようではありませんか！そして最も大きな会長への感謝は、会長が紹介されたアダムスキー哲学を本気で実践することにあると思います。口では何とでも言えますが実践はなかなか困難です。しかし不屈の信念を持ってともにがんばりましょう。

●各支部の代表の方々よりすばらしい支部報をお送り頂きました。深く感謝申し上げます。また五月・六月に集中的に開催されます各支部大会の大成功を心からお祈りします。三月三日開催の松山支部大会が大盛況であられますように、がんばってください。

●編者の住所が転職の関係上、三月下旬をもって変更になる予定です。新住所は未定です。

●寒さに負けずがんばりましょう。

（山口）

日本GAP山形支部機関誌
ユニバーサルメッセージ 9
March 1 1981
編集発行人　山口　緑
発行所　日本GAP山形支部
〒990 山形市東原町4-18 朝日荘23
振替　山形 6525
頒価 100円・送料120円